

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	株式会社小松製作所					
代表者名	氏名	小松 浩康	役職名	代表取締役社長		
主たる事務所の所在地	長野県松本市大字今井字松本道7256-1					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	26 生産用機械器具製造業				
主たる事業の概要	建機・農機・重機・医療機器、地震対策用建築部品の製造					
制度に該当する要件	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input checked="" type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	kl	238.72	236.33	231.16		
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	449.29	444.80	432.14		
その他ガス排出量合計	t-CO ₂					
自動車の台数	台	7		7		
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂					

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2021	年度	計画期間	2022	年度～	2022	年度
報告対象年度	2022	年度					

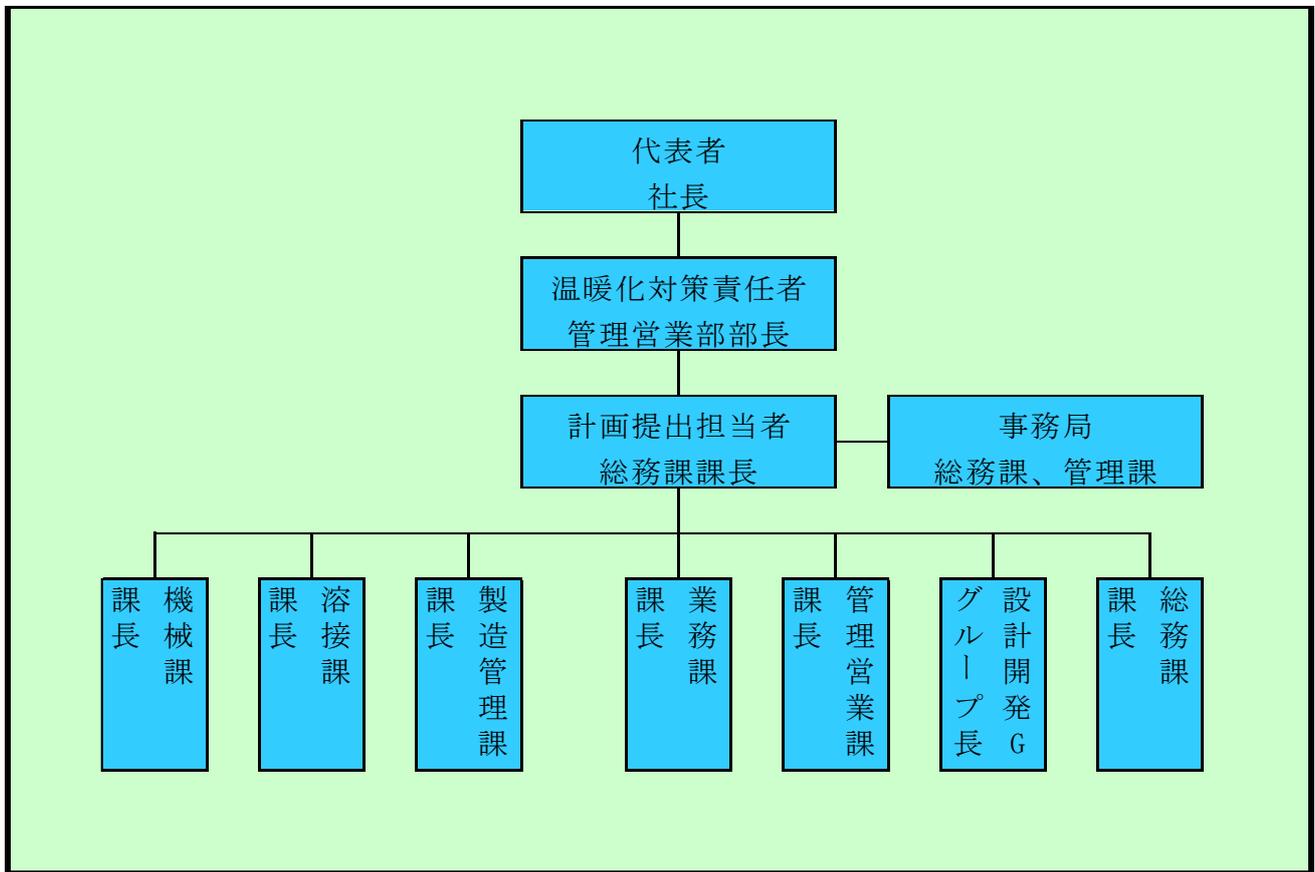
3 計画書（報告書）の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	総務課窓口にて対応 (TEL:0263-58-3330) 8:00～16:50
<input type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

1. 地球環境の保全を図り、環境汚染の予防に努めます。
2. 脱炭素社会・循環型社会の実現に向け、CO2排出量削減、廃棄物削減、資源の再利用・リサイクル、エネルギーの効率的利用等の環境負荷低減に取り組みます。
3. 事業活動に伴う自然・生態系への影響に配慮し、生物多様性の保全を図ります。
4. 環境管理体制を整備し、役割・責任・権限を決め継続的な改善活動に取り組みます。
5. 事業活動上遵守すべき環境関連法令等を遵守し、管理・評価・改善に努めます。
6. 継続的な環境教育や啓発活動により、環境意識の向上を図ります。

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

- ①環境委員会（年2回）、経営会議（毎月：省エネ案件フォロー含む）

様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	449.29	t-CO ₂	売上金額	14.02	単位	億円
2021年度	調整後排出量	449.29	t-CO ₂	基準原単位	32.05	t-CO ₂ /	億円
目標年度	目標排出量	444.80	t-CO ₂	目標原単位	31.73	t-CO ₂ /	億円
2022年度	目標削減率	1.00	%	目標削減率	1.00	%	
目標設定に関する説明	エコアクション21による環境活動を中心に1年間で1%以上の省エネ活動を目指して推進を行なう。						
第一年度	排出量	432.14	t-CO ₂	売上金額	14.19	単位	億円
	削減率	3.81	%	原単位	30.45	t-CO ₂ /	億円
2022年度	調整後排出量	432.14	t-CO ₂	原単位削減率	4.99	%	
	削減率	3.81	%				
排出量等の増減理由	2021年度に比べ2022年度では夜間の電力使用量が約40%減っている（昼間電力量は約2%減）。特定の顧客において冬期間の夜間の保温を要する製品があり、その製品の物量の減少に依ることが一因に挙げられる。 また、灯油の使用量も基準年度に比べ約13%減少しており、CO2排出量の減少量の約半分を占める。灯油を給油し始めた時期が前年よりも遅く、また回数も少ないことからジェットヒーターの使用時間減が影響していると考えられる。						
第二年度	排出量		t-CO ₂	売上金額		単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
—年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂	売上金額		単位	
	削減率		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /	
—年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号
(総括票)

6の2エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量		t-CO ₂			単位	
2021年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
—年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
—年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量		t-CO ₂			単位	
2021 年度				基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022 年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2022 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
— 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
— 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I～II	I-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	I-2	エコドライブの励行						
III	III-1	次世代自動車の導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	区分番号	対策内容	計画		状況	
				実施予定年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	360703	エアブロー使用削減、エアガン変更による圧縮空気流量の削減	2022	1	2022	2
2	エネ起	360705	エア-漏れ修理・点検による圧縮空気流量の削減	2022	1	2022	1.5
3	エネ起	380752	照明関係の省エネ活動	2022	1	2022	0.5
4	エネ起	380752	照明設備の「LED化」推進	2022	2	2022	0
5	エネ起	その他	生産設備・付帯設備の省エネ推進	2022	1	2022	0.49
6							
7							
8							
9							
10							

9 自然エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

様式1号
(総括票)

10 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満								
1,500k1未満	1	449.29	1	432.14				
合計	1	449.29	1	432.14				

11 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂				
CH ₄				
N ₂ O				
HFC				
PFC				
SF ₆				
NF ₃				
合計	0	0	0	0

12 次世代車使用台数等の導入状況 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車				
その他 (ハイブリッド等)	2	2		
合計	2	2	0	0
自動車総数	7	7		
次世代車導入割合	28.6	28.6		

様式1号
(総括票)

1.3 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	特になし
自転車の利用促進	駐輪場を増やした中で自転車の利用促進をしている。
来客者の交通対策	特になし
物流の合理化	出荷計画・運行計画の見える化、納入荷姿改善に取り組んでいる。

1.4 環境配慮活動状況

環境配慮活動	活動内容の詳細		
	実施内容		実施年度
<input type="checkbox"/> SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している		
<input type="checkbox"/> 環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している		
	名称		
<input type="checkbox"/> TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 支持を表明している		
<input type="checkbox"/> グリーンボンド	グリーンボンドを発行している		
<input type="checkbox"/> ESG投資	ESG対話プラットフォームに登録している		
<input type="checkbox"/> SBT	SBT を策定済、またはコミットしている		
<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/>	RE100にコミットしている	
	<input type="checkbox"/>	再エネ100宣言RE Action へ参加している	
<input checked="" type="checkbox"/> その他	7つのムダを考慮した5S活動推進		2022

1.5 自由記載欄

5S委員会のもと、7つのムダを考慮した5S活動を推進している。
 エコアクション21を2023年6月に認証・登録。
 2023年8月以降に長野県SDGs登録制度へ申請・登録予定。